

## 全国大会の開催要項

- 1 主催 日本プラネタリウム協議会(略称：J P A)
- 2 主管 会場館
- 3 内容 日本プラネタリウム協議会総会の開催と研究発表・実践報告の実施等
- 4 日程 平成 28(2016)年度の 6 月ごろ  
(2泊3日程度で、初日は午後から開始し、最終日は午前中のみが望ましい)
- 5 参加者数 250～300 人程度を想定
- 6 場所 会場館とその周辺の施設\*  
※会場館にスペースがない時、周辺の公民館やホテル等の会議室などの施設を利用  
会場となる条件は以下のとおりです
  - (1) 総会会場 参加者全員が収容でき、音響設備、映像設備(ビデオプロジェクターなど)を有すること。
  - (2) プラネタリウム 準備を含め、期間中の使用がある程度自由にできることが望ましい。  
また、フルドーム映像の投影ができることが望ましいが、できない場合は、臨時に装置の設置が可能なスペースがあり、そのための事前準備ができること。
  - (3) 研究発表・実践報告会場 参加者全員が収容できる部屋と 100 人程度収容できる部屋が 2～3 室があり、音響設備、映像設備(ビデオプロジェクターなど)を有すること。
  - (4) ベンダーブース会場 30 社程度のスペースが確保できること。  
また、電源・照明等が個別に提供でき、展示用の机、椅子、台等が用意できること。
  - (5) 記念写真 天候に関わらず参加者全員の集合写真が撮影できること。
  - (6) 宿泊 地域内で参加者全員が収容できること。
  - (7) 情報交換会会場 参加者全員が収容できること。

◎これら各会場間を参加者がスムーズに移動できること。
- 7 担当 会場館や地域の館と日本プラネタリウム協議会事務局が大会運営委員会を組織する予定です。
- 8 経費 参加費および日本プラネタリウム協議会の予算により全経費を賄う。